

### 地域包括支援センターとは

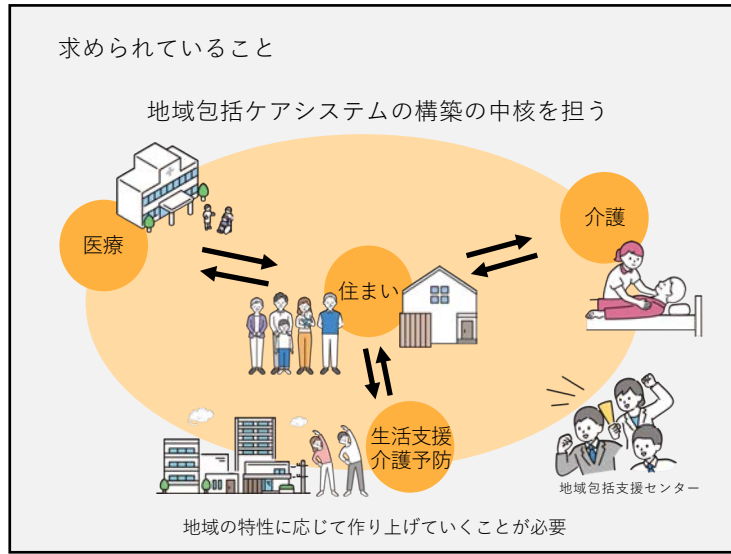
住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域の住民を包括的に支援することを目的とする施設。地域包括ケア実現に向けた中核的な機関として市町村が設置している。現在、全国で5, 270か所。(支所を含めると7, 305か所)※令和3年4月末時点

<b>社会福祉士</b>	<b>ケアマネジャー 主任介護支援専門員</b>	<b>保健師</b> <small>保健師に準ずる者でも可</small>
住民の各種相談対応 高齢者虐待防止 その他権利擁護	地域ケア会議の開催 ケアマネジャーの相談対応 支援困難事例等への助言	予防給付プランの作成 介護予防事業 要介護状態への予防

それぞれの専門性を活かし連携しながら業務を行う

### 業務内容

<b>介護予防ケアマネジメント</b>	<b>総合相談</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>要支援認定を受けた高齢者に対するケアプランの作成</li> <li>介護予防支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の各種相談に総合的に対応</li> <li>困り事に対し、サービスや制度を紹介</li> </ul>
<b>権利擁護</b>	<b>包括的・継続的 ケアマネジメント</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>成年後見制度の活用サポート</li> <li>虐待被害の対応、防止、早期発見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ケア会議の開催</li> <li>ケアマネジャーからの個別相談</li> <li>支援困難事例等へのアドバイス</li> </ul>



2021年度の取り組み

地域の介護支援専門員の声

レーベンスさんで法定外研修を開催してくれませんか？

ケアマネとして知っておいた方がいい医療知識って何？

退院前カンファレンスで医療の専門用語が出ても分からない…

法定外研修は数が少なく競争率が高くて大変…

法定外研修：平成28年度より主任介護支援専門員の資質向上を図るために更新制度が導入された。更新研修を受講するための要件の1つが、法定外研修の受講となっている。

開催に至るまでの経緯

(別件で)これからよろしくお願いします！

こちらこそよろしくお願いします。ところでケアマネジャーさんへの研修をしてみませんか？

いいんですか！？ずっとやりたかったけどあてがなかったんです！

法定外研修の講師を依頼できるあてがないレーベンスポルト

地域の様々な職種との輪を広げたい川邊先生

もちろんです。東大阪プロジェクト共催でやりましょう！

東大阪プロジェクトとコラボが決定！

開催にあたっての思い

人生で仕事は多くの時間を占めているし、少しでも楽しく感じられるようにしたい

専門職が別の専門職に気軽に相談できるような関係性があったら嬉しいかも

義務ではなく「受けてよかった」「楽しかった」と思ってもらいたい

面白い研修ってなんだろう？

普段から色んな職種の人に助けってもらっていて感謝しているので、多くの要望に応え、還元したい

より良いケアにするために医療と介護の垣根をなくしたい

どんな研修にしたいのか、どのように進めるのか何度も話し合いをしました

開催にあたって

対象：主任介護支援専門員がメイン  
場合によっては他の職種でも可能

人数：約80名

方法：オンライン(ZOOM)

回数：年4回

内容：最初に運営側の意図や持ち帰ってほしいものを伝えること  
グループワークを入れる  
毎回アンケートを実施し、前後の打ち合わせを確実に

2022年は「疾患の理解」シリーズ！

- 第1回 2月19日 感染症について（コロナ感染症を含む）
- 第2回 5月28日 難病について（パーキンソン病を含む）
- 第3回 8月27日 がん患者へのCM支援
- 第4回 11月26日 成年後見制度及び、前3回に関連する制度

4回受けると理解がぐっと深まりますよ！

※全てオンラインでの実施予定  
※日時・内容は変更の可能性有

開催結果

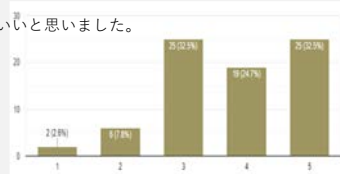
83名の主任介護支援専門員・介護支援専門員が受講

- 先生の講義内容が現在知りたい内容で、とても参考になりました。
- スムーズな進行、計画的に開催されること、次回開催のアナウンスもあり、よかった
- グループワークで、多事業所の方達も、コロナ禍でのモニタリングの実施方法など伺え、同じやり方をされていて安堵したり、気軽に話ができてよかった。
- 説明がとても分かりやすかった。コロナ禍の中で、職員や利用者様、家族様へ正確な情報を伝え、不安を軽減させていきたい。
- 医療・保健・福祉の学習を積み重ねていくことで、今後の現場の仕事に役立てていけると思っています。

回数	参加人数	参加率
1	0	0.0%
2	0	0.0%
3	2	2.4%
4	28	34.9%
5	47	56.8%

課題

- ・グループワーク時に、1分前だけではなく、最初から後何分かわかるようにしてもらえたら、もっとやりやすかったです。
- ・グループワークの際、進行係を決めてもらい、進めていくアナウンスがあるとスムーズであったかと思いました。
- ・zoomでのグループワークは難しいと感じました。進行役がない為、円滑に話し合いが行えなかった。
- ・グループワークでは自己紹介以外は決まった人がずっと話していて話し合いと言う感じにならなりました。
- ・他の事業所の対応とか参考になるので、グループワークの時間をもう少しあればいいと思いました。



地域連携について

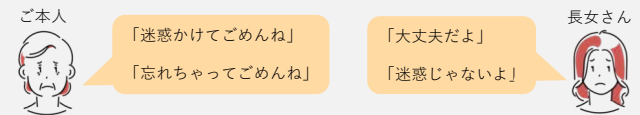
思いの傾聴と寄り添った言葉かけが大切

近隣のクリニックより介護保険の認定申請の依頼があり初回訪問。  
(ご本人・長女さん・長男さん(一部)同席)

Aさん 90代 女性  
 現病歴：高血圧 高コレステロール血症 認知症  
 ADL自立 買い物時にサイドカートを利用する程度  
 その他：3日前に現住所へ引っ越したばかり(長男さんが職場の近所へ呼び寄せた)  
 一時帰国している長女さんと2人で生活している

ご本人「最近忘れることが増えて、迷惑をかけて申し訳ない。施設の方が気が楽」  
 長女さん「母と一時的に暮らすのは負担にならない。ただ、私も海外に戻るし兄も仕事があるので施設の方が安心です」  
 長男さん「家で過ごせるように引っ越したのに、このままみれないものでしょうか」

思いの傾聴と寄り添った言葉かけが大切



どんな気持ちで言ってるんだろう  
 わたしは何を伝えたいんだろう

「もの忘れが増えているのは病気なので、Aさんのせいじゃないんですよ」  
 「娘さんも、言葉通り迷惑には感じてなくて、大切だから不安なんですわね」  
 「施設に入るのも1人で暮らすのも、住む場所をご自身で決めていいんです」

### 地域包括支援センターは最初の窓口

ケアマネジャー 病院  
役所関係 民生委員 介護事業所  
社会福祉協議会 地域活動 etc..

地域包括支援センター

**Point** 感じたことを見過ごさないこと  
最初のインテーク・アセスメント・対応で後の流れが決まる

中には様々な機関の多職種が関わっても全く解決に至らないケースも…。

解決することが全てではないと理解し、**伴走型支援**としてずっと関わり続ける

### 今後の地域連携についての取り組み

医療・介護・福祉分野に留まらず、まちづくりや防災、教育などの多分野とも連携して暮らしの中に「人と人のつながり」というセーフティネットを広げることをめざす

より多くの民間企業や学校への認知症サポーター養成講座の実施

地域の防災イベントでの介護教室

住民主体で行う活動の創出や繋ぎのお手伝い

多職種を交えた研修への進化 (仕事の内容や困り事の相互理解)

### 地域連携について大切にしていること

相談しやすい関係性作り  
相談された際の初動と返事の速さ

様々な職種の考え方や立場の違いをお互いに尊重しあうこと

誰も置いていかれている人がいないか気を配ること

職種別で仕事を丸投げせずに、チームとして分野を超えて理解する努力をすること

色々な人を巻き込み、皆で「地域社会化」をめざすこと

考え方の違いを楽しむ！無茶なお願いはお互い様という気持ちを忘れないこと

住民さんを含め、お互いが仕事の内容や顔を知っていること

### 地域連携などでやってみたいこと

東大阪全ての人を巻き込んだ座談会  
→東大阪マラソンの実現

住民さん個人レベルでの困り事共有会 & 地域の繋がり会を開催してみたい

若い世代に向けた介護関係や地域づくりを身近に感じてもらえる機会作り

地域の多職種を交えて、各専門分野を活かした防災訓練をしてみたい

精神疾患や8050問題について、多職種で悩み共有ができるような会を作りたい

喫茶店での認知症カフェ若年性認知症の方の居場所づくり

地域の人とその地域で活躍する多職種を交えた小規模でアットホームな座談会

